

吃音話し合いシート

- ①生徒や保護者との話し合いのときにコピーをして記入する。
- ②記入後にコピーし、学校、保護者でそれぞれ保管する。
- ③個別指導計画書作成の資料として活用する。

◆吃音の症状について

どのような症状がありますか？	連発 ・ 伸発 ・ 難発 ・ その他（随伴症状）
どのような場面で吃音がしやすいですか？	
周りがどう対応すると楽ですか？	

◆話す場面で不安や困っていることはありますか？

日直	号令をかける		発	授業中に自分から手を挙げて、発表をする	
	二人で声を合わせて号令する			順番に発表をする	
	その他、不安や困っていること			答えや意見をプリントにまとめてから発表する	
音読	教科書の音読をする		表	グループに分かれて、自分の意見を発表する	
	順番に音読をする			突然、指名されて発表する	
	突然、指名されて音読をする			その他、不安や困っていること	
	みんなで音読をする				
会話	友達と話す		挨拶	職員室に入るときに挨拶をする	
	先生に質問する・話しかける			すれちがったときに挨拶をする	
	不意に話しかけられる			その他、不安や困っていること	
部活動	その他、不安や困っていること		部活動	挨拶や返事をする	
				大きな声で掛け声や応援をする	
				その他、不安や困っていること	

具体的には…

◆友達関係について

困っていること、心配なことはありますか？ （質問される・指摘される・からかわれる・真似される）	
自分ではどう対処していますか？	
先生にして欲しいこと・して欲しくないことはありますか？	

◆周囲への話し方（吃音）の伝え方について

クラスや部活動の友達に話し方（吃音）のことを伝えますか？	伝える ・ 伝えない
だれが伝えますか？	自分・先生・その他
だれに伝えますか？	クラスのみ ・ 学年のみ ・ 仲の良い子 ・ 部活が一緒の人
他の先生に伝えますか？	はい ・ いいえ 「はい」・・・伝える先生（ ）
どんな場面で伝えますか？	自分がいるとき ・ いないとき
どんな内容を伝えますか？	

*担任や部活動の顧問の先生以外にも、相談できる先生がいます。

養護教諭（ ）先生 特別支援教育コーディネーター（ ）先生
 スクールカウンセラー（ ）先生

*各区市町村の教育委員会、小学校のこたばの教室、きこえの教室にも相談ができます。

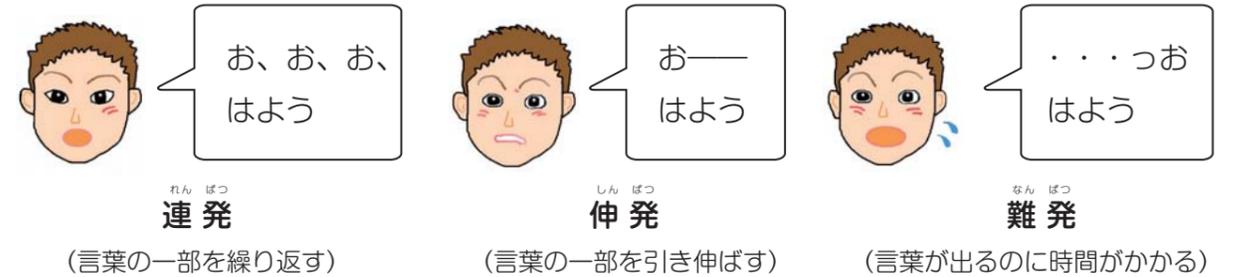


中学校 高等学校の 先生方へ

きつおん
吃音がある生徒は、**個人に合った適切な理解や配慮を求めています**

吃音とは・・・言葉が滑らかに出てこないこと

主症状



※随伴症状 (話し方として呼吸が乱れる、顔や体に力が入る、手や足を動かすなどの症状) を伴うことがある

思春期の吃音と不安 その特徴

周りに気付かれにくくなる

難発の症状が増え、言葉が出るまでに時間がかかって、話すことを諦めることがあります。吃音になりやすい言葉を上手く言い換えて、症状が目立たないように工夫することがあります。吃音を隠すことが最優先になり、言いたいことを言わないことがあります。



症状の軽重と悩みの深さが、必ずしも一致しない

吃音の症状が目立っていても、気にせずよく話す生徒がいる一方で、症状が軽度で周囲に「気にならない」と言われても、本人は吃音のことを深く悩んでいる場合があります。

「中学・高校の時が一番つらかった」と、大人になってから振り返る人が多い

友達との会話に入れれないなど回避的になる生徒もあり、社会不安障害などにつながる場合もあります。

吃音の基礎知識

吃音のある人は、およそ100人に1人いる

- ◆発症の原因は、特定されていない 本人の性格や保護者の育児方法が原因ではありません。
- ◆人により、言葉の出にくさが違う 音読で出にくい、会話で出にくい、決まった言葉で出にくいなど様々です。
- ◆同じ人でも、吃音の状態に波がある 学期や行事、相手など様々な条件により変わります。
- ◆治療法は、まだ確立されていない 有効な方法がいくつか提唱され、実践されているところですが。
- ◆話すことの多い職業に就く人も、たくさんいる アナウンサーや弁護士、教師などで活躍しています。

吃音は、**周囲が「知ること」**から、支援が始まります。
 吃音があることを否定せず、自信をもって、自分らしく学校生活を送れるよう、
周囲が「理解すること」が大切です。